

評価項目の一例

1. 技術審査項目

審査項目		一般競争入札 (7.3億以上)	公募型指名競争入札 (2億以上7.3億未満)	工事希望型指名競争 入札 (1億以上2億未満)	通常指名競争入札 (1億未満)
企業の格付け (経営事項評価点数 + 技術評価点数)					
競争 参加 資格 / 技術 審査	経営事項評価点数	1200点以上			
	同種・類似工事の施工実績 (65点未満は実績として認めない)				
	近隣地域内の施工実績				
	配置予定技術者の資格				
	配置予定技術者の経験 (65点未満は実績として認めない)				
	施工計画の適正さ	()*1	()*1		
指名 基準	不誠実な行為の有無 (欠格要件: 指名停止等)				
	経営状況 (欠格要件: 民事再生法、取引停止等)				
	工事成績(工事成績優良、表彰状、感謝状) (欠格要件: 過去2年連続で平均60未満)				
	手持工事の状況				
	地理的条件(本店、支店、営業所の所在等)				
	技術的適正(同種工事の実績等)				
	安全管理の状況 (欠格要件: 指名停止、労基署からの指導等)				
	労働福祉の状況 (欠格要件: 賃金不払いの厚生労働省の通知)				
技術提案	()*2	()*2			

*1は施工計画審査タイプに適用

*2はVE方式に適用

2. 施工計画

(1) 直轄における施工計画の取扱い

1) 入札時における施工計画の審査・評価

(a) 施工計画審査タイプ

一般競争入札及び公募型指名競争入札の対象工事のうち、大規模構造物の工事、特殊な作業条件下の工事等であって、高度な施工技術を必要とするものである場合においては、施工計画が適正であることを審査するものである。

競争に参加する者に別記様式4の提出を求める。

(別記様式4)

(用紙A4)

施 工 計 画

会社名：_____

項 目	具 体 的 な 施 工 計 画
地形・地質条件、 設計条件等に対する 技術的所見	(施工の前提となる条件についての理解の程度及び対応への所見 の妥当性等を見る)
仮設備計画	(施工上の諸条件を考慮した仮設備計画の妥当性等を見る)
本体工事施工計画	(施工環境及び諸条件を考慮した本体工事の施工に係る工法等の 技術的所見の妥当性等を見る)
安全対策 環境対策 機械設備計画	

(b) 入札時 V E 方式

一般競争入札及び公募型指名競争入札の対象工事について、入札時に施工方法等の提案を受け付ける入札時 V E 方式においては、標準案による施工計画と V E 提案による施工計画の両方あるいはいずれかの提出を求める。標準的な様式を以下に示す。

(様式 7 - 1)

<p>会社名) _____</p>
<p>施工計画 (標準案)</p>
<p>工事の施工計画については以下のとおりとします。【なお、V E 提案による施工計画が適正と認められた場合には V E 提案に基づき施工します。】* 注 1</p>
<p>施工方法等</p> <p>(具体的工法、主要機械、仮設備等を記述する。)</p>
<p>注 1) 【 】内は V E 提案を併せて提出する場合に記述すること。</p> <p>注 2) 必要に応じて構造図、説明図表を添付すること。</p> <p>注 3) 資料の枚数は、図表を含め A 4 版換算で 枚以内とすること。</p>

より具体的な施工計画を求めた事例を以下に示す。

(別記様式10)

(用紙A4)

施 工 計 画 書 (標 準 案)		会社名
	内 容	
施工手順	(効率的な施工手順はどのように行うか)	
土留工法	(土留工法の施工上の留意点)	
被圧地下水対策	(・ 確実な遮水対策はどのように行なうか) ・ どのように揚水 + 復水工法を行なうか)	
防水工法	(確実な防水施工をどのように行なうか)	
盤ぶくれ対策	(確実な薬液注入をどのように行なうか)	
J R 近接施工	(JR との近接施工の留意点)	
周辺環境対策	(施工時の周辺環境対策の留意点)	
安全対策		
工期		
その他	(不発弾調査の施工上の留意点)	

注) 2枚以内で記述すること。

(c) 総合評価方式

総合評価方式において、施工計画に関する技術提案を求めた様式を以下に示す。

様式 4

<p>施工計画書（V E 提案） （ 上部工事）</p> <p style="text-align: right;">会社名 _____</p>
<p>上部工事の施工計画書については、以下のとおりとします。 本施工計画が適性と認められた場合は、本計画にもとづいて詳細施工計画を立案し 施工を行います。</p>
<p>1．V E 提案の概要 （標準案との相違点を簡潔に記述する。）</p>
<p>2．提案に対する施工方法、施工管理方法 （交通規制時間を短縮できる根拠等を記述すること。また、施工実績等があれば添付すること）</p>
<p>3．提案施工方法に関する安全管理対策計画</p>
<p>4．短縮提案に対する確実性の所見</p>
<p>5．工業所有権等の排他的権利に係る事項、提案内容の公表に係る所見等</p>
<p>6．工程表（準備・施工・後片づけ期間等）</p>
<p>注1) 必要に応じ説明図表を添付すること。なお、交通規制に関するタイムスケジュールを必ず添付すること。</p>
<p>注2) V E 提案による施工計画書を複数提出することはできない。</p>
<p>注3) 資料の枚数は図面を含め、10枚以内とすること。</p>

2) 施工計画書の提出

工事請負者は、工事着手前に工事目的物を完成するために必要な手順や工法等についての施工計画書を監督職員に提出しなければならない。(土木工事共通仕様書(案))

施工計画書に記載する内容は以下の通り。

- 1) 工事概要
- 2) 計画工程表
- 3) 現場組織表
- 4) 安全管理
- 5) 指定機械
- 6) 主要資材
- 7) 施工方法(主要機械、仮設備計画、工事用地等を含む)
- 8) 施工管理計画
- 9) 緊急時の体制及び対応
- 10) 交通管理
- 11) 環境対策
- 12) 現場作業環境の整備
- 13) 再生資源の利用の促進と建設副産物の適正処理方法
- 14) その他

(2) 海外における施工計画の評価事例

1) 米国の具体的な評価事例 [内務省開拓局]

総合評価方式を行っている事例として、導水路トンネル、豎坑及び各種付帯構造物の築造工事(Sixth Water Aqueduct Diamond Fork Power System) (1991)のネゴシエイト契約があり、技術評価と価格評価の重み付けを70:30として総合評価を行っている。技術評価における評価項目と配点を表1に示す。

表1 米国における具体的な評価事例 [内務省開拓局]

		評価項目	配点
技術 評価	1	施工計画	計825
		・工期及び工程計画	50
		・進入道路及び工事用基地	40
		・導水路トンネルの施工	250
		・豎坑の施工	135
		・各種付帯構造物の施工	145
		・機械設備計画	70
		・水質管理・換気計画	80
		・その他の項目	55
		2	要員配置(現場要員) 評価基準:技術的経歴40%、マネジメント面の経歴40%、学歴20%
	3	過去10年間の同種工事实績	40
	4	安全管理計画・安全成績等	85
技術評価点合計			1,000
価格 評価	1	提案価格の相対評価 $200 - 200 \times [(P - L) / L]$ P:対象入札者の入札価格, L:最低入札価格	200
	2	価格提案の質的評価	計800
		・見積方法の合理性	200
		・見積価格の妥当性	500
		・技術提案・仕様との整合性	100
価格評価点合計			1,000
総合	$\boxed{\text{総合評価点}} = (\text{技術評価点} \times 70\%) + (\text{価格評価点} \times 30\%)$		

注)各評価項目は、さらに細分化した細項目とその配点が設定されている。

2) 英国の具体的な評価事例 [外務英連邦省]

海外の外務関係施設(大使館、住宅、アメニティ施設等)の新設、改修等の工事を対象に総合評価方式を適用した事例を表2に示す。なお、評価項目と各評価項目の重み係数は公表され、重み係数は地域の実情等によって各工事毎で異なっている。

表2 英国における具体的な評価事例 [外務英連邦省]

プロジェクト名:			契約参照 No.:							
国大使館邸宅改装工事			技術評価の重み:		35%					
			価格評価の重み:		65%					
技術評価										
評価項目	評価基準	評価の重み(%)	入札者1		入札者2		入札者3		入札者4	
			評点 (最大100点)	重み付け 評点	評点 (最大100点)	重み付け 評点	評点 (最大100点)	重み付け 評点	評点 (最大100点)	重み付け 評点
入札プログラム	-	20	85	17.0	65	13.0	75	15.0	85	17.0
プロジェクト手法書	-	20	75	15.0	45	9.0	65	13.0	35	7.0
主要配置技術者の経歴	-	25	90	22.5	35	8.8	65	16.3	35	8.8
下請業者及び納入業者との過去の共同実績	-	20	85	17.0	35	7.0	25	5.0	25	5.0
類似工事の実績	-	15	65	9.8	45	6.8	55	8.3	35	5.3
(A)技術評点計		100	81.3		44.5		57.5		43.0	
(A)が全体評価基準値を超えているか?			Yes		No		Yes		No	
(B)技術評点の調整点(A最高点=100%)			100.00		54.77		70.77		52.92	
(C)重み付けした技術評点(=B×0.35)			35.00		19.17		24.77		18.52	
入札価格評価										
(D)入札価格(£)			£355,000		£315,000		£450,000		£520,000	
(E)価格評点の調整点(D最低点=100%)			88.73		100.00		70.00		60.58	
(F)重み付けした価格評点(=E×0.65)			57.68		65.00		45.50		39.38	
全体評点										
重み付けした評点の計(=C+F)			92.68		84.17		70.27		57.90	
ランク付け										
技術評価ランク			1		3		2		4	
価格評価ランク			2		1		3		4	
評点計のランク			1		2		3		4	
備考:										

3) 豪州の具体的な評価事例 [ブラックタウン・シティ・カウンシル]

豪州のNSW州 (New South Wales) の地方公共団体であるブラックタウン・シティ・カウンシル (Blacktown City Council) の具体的な評価事例として、環状道路建設事業における個別工事の評価例を表3に示す。

本事例は、営業中の鉄道幹線と道路交差部の橋梁工事 (下部工: ケーソン基礎、上部工: PCプレキャスト、52時間の線路占有期間に架設) であり、価格50%:技術50%のウェイトで評価を行っている。

表3 豪州における具体的な評価事例 [ブラックタウン・シティ・カウンシル]

評価項目		得点	配点	
1	価格 $0.8 + 1.0 \times [(\text{平均価格} - \text{入札価格}) / \text{平均価格}] \quad 1.0$	0.1~1.0	50%	
2	配置要員	・ Project Manager	0.1~1.0	5%
		・ General Foreman	0.1~1.0	5%
3	工程計画	・ 線路占有前	0.1~1.0	5%
		・ 線路占有期間中	0.1~1.0	5%
4	上部工架設方法	0.1~1.0	10%	
5	施工法全般	0.1~1.0	10%	
6	鉄道営業線占有工事実績	0.1~1.0	10%	
合計点			100%	